

平成 30 年度第 1 回総合教育会議会議録

開会及び閉会の年月日時

開 会	平成 31 年 2 月 6 日午後 3 時 00 分
閉 会	平成 31 年 2 月 6 日午後 3 時 59 分

会議に出席した者の職及び氏名

出席者	市 長 : 阪 口 伸 六 教 育 長 : 佐 野 慶 子 教 育 委 員 : 西 中 隆 教 育 委 員 : 西 村 陽 子 教 育 委 員 : 吉 村 文 一
教育委員会 事務局職員	教 育 部 長 : 細 越 浩 嗣 教 育 部 次 長 : 神 志 那 隆 教育部次長兼社会教育課長 : 杉 本 忠 史 教育部次長兼学校教育課長 : 吉 田 種 司 教 育 総 務 課 長 : 西 川 浩 二 こ だ も 家 庭 課 長 : 家 村 美 雪 子 育 て 支 援 課 長 : 小 林 弘 典 教育総務課長代理兼係長 : 上 田 麻 紀
市長部局職員	政 策 推 進 部 理 事 : 藤 村 達 也 政 策 推 進 部 次 長 : 北 野 哲 也 総 合 政 策 課 参 事 : 亀 山 政 記

議題及び議事の要旨

・協議事項(1) たかいし教育ビジョンの策定について

教育総務課長	<p>たかいし教育ビジョン策定について説明する。</p> <p>本市では、平成26年4月に教育基本法に示された教育の理念の実現に向けて、さきの10年間を通じて目指すべき教育の姿を明らかにするとともに、平成26年度から平成30年度までの5ヶ年に取り組むべき施策を示した、たかいし教育ビジョンを策定した。たかいし教育ビジョンでは、確かな学力の定着と、豊かな心を育み、健やかな体を育て、子供たちに質の高い教育を提供することなどを示し、その実現に取り組んできた。</p> <p>引き続き、教育の中心である学校教育とともに、豊かで実りある人生を送ることのできる生涯学習の両方の視点を踏まえ、これまでの施策の検証とともに、新たな課題を踏まえ、今後5年間に重点的に取り組む施策を明らかにし、平成31年度からの5ヶ年を期間とする、たかいし教育ビジョンを策定するものである。</p> <p>本日、お手元のたかいし教育ビジョン案については、教育長、委員各位においてご検討いただき、現行の計画をもとに修正を加えた案を作成し、12月にはパブリックコメントを実施し、いただいたご意見の反映等の一部修正した案である。</p>
西中委員	<p>全国的に見ると、大阪府は学力調査等で学力的に必ずしもよろしくないということで、その大阪の現状の中で、特に家庭と学力の関係、家庭の教育環境と学力はかなり相関関係が高いわけであるが、そのことについて府教委のほうでリーフレットなどをいろいろ出していただいている。そういう情報発信をされているが、その内容を浸透させるということで、PTAの皆さんにそういうことを知っていただくための連携を</p>

	<p>ひ進めていただけたらと思うので、よろしくお願ひしたい。</p>
<p>吉村委員</p>	<p>教育ビジョンの11ページの基本施策のところにある基本的な知識、技能を活用した思考力、判断力、表現力の育成、要するに望ましい生活習慣、学習習慣という項目があるが、「早寝早起き朝ごはん」という標語はもう全国的に浸透している標語であるが、学校において実行することはなかなか難しい。この辺については、学校だけで習慣は身につかないので、家庭の協力というものが必要である。教育委員会の中で私も発言させていただいて、ご家庭の協力を得るような広報の勉強をしていきましょうとお話した。その項目の中にあと大切なこととして、ノーテレビデーの推進や、携帯電話の使い方など、今の社会問題としての項目が非常に濃縮して入っている。例えば、スマホは必要ではないが、今、共稼ぎの家庭が多いので連絡手段として携帯はやっぱり必要であるということもあるので、スマホはもう少し大きくなってから、連絡をとるには携帯にしたらいいのではないかなど、その辺のところを今後、市を挙げて勉強していかなければならないと思う。</p> <p>特に、朝御飯を食べてきたかというのは大切なことで、学校に行くまでに早く起きるといふ習慣は非常に大切であるので、啓蒙活動であるが、地道にしていけないといけぬ。例えば、阪口市長はいつもいろんな会に出ておられるので、子供がいる場面では、最初の挨拶のときに、「御飯食べてきましたか」と元気に言っただけであればありがたい。</p> <p>何かの会があるたびに、朝御飯食べてきましたかという声がけをし、食べない子はいない高石市を目指していきたいと思うので、その辺のご協力もよろしくお願ひしたい。</p> <p>もう一つ、少し長くなるが、15ページで、体力の向上についてである。やはり体力がないと勉強にもついていけないし、気力も上がらないということもある。現在の社会情勢から、安全で遊べる場所がなかなかない。どうしても家に閉じこもって携帯やゲームをしてしまい、友達同士で集まっても結局そういうことになる。校庭や園庭の解放をやっているが、もう少し積極的に、教員の負担などもあるが、地域の見守り隊の方々などの協力を得ながら、できるだけ外で遊べる場をつかっていってあげたい。昨年から総合型スポーツクラブができ、これをどんどん活用して子ども会等に啓蒙していき、できるだけ大勢の人が参加できるようにしていきたいと思うので、その辺のところを教育委員会と一緒に検討していきたいと思う。</p>
<p>西村委員</p>	<p>今後10年間に向けての計画という中の前半の5年間が過ぎたわけであるが、最初のビジョンをつくってから、その後昨年、成年年齢の引き下げがあった。今までは20歳で成年に達したわけであるが、2022年からは18歳で成年になる。ある意味、すごく大きな変化であると思う。やはり、18歳で成年になる前には高校での教育も大事であると思うが、やはり幼稚園、小学校、中学校、そこから18歳でもう成年になるということも見据えて、きちんとひとり立ちできる大人を育てていくということが大事であると思う。</p> <p>あと、消費者被害という意味では、今までは20歳で成年になったので、18歳で大学へ行っていろんな消費者被害に遭っても取り消し、いわゆる未成年者取り消しができた。それができなくなるので、18歳になった途端、いろんな悪質な商法のターゲットになる可能性がある。そういう意味で、18歳で成年を迎えるまでにきちんと自立した消費者になれるような消費者教育をきちんとしておかないといけぬという課題が非常に大きくなってきたので、その辺は教育現場でも、消費者行政という部分とも連携して、18歳で成年になった人たちが消費者被害に遭わないよ</p>

<p>阪口市長</p>	<p>うにこれからぜひ力を入れていっていただきたいと思う。</p> <p>佐野教育長からは、最終的にまとめて総合的にご意見いただきたい。今、3名の委員、西中委員からは学力向上の関係について、府教委からリーフレットなどで情報発信されており、PTAとの連携をしっかりとしなさいということが1点。</p> <p>それから、吉村委員から、「早寝早起き朝ごはん」を行うためにはやはり家庭の協力が必要であると。携帯の関係もスマホはどうかということもあるが、連絡手段ということでその指導もあると思う。私が、「御飯食べてきたか」とか「元気ですか」と、これはもう今すぐ約束する。TPOに応じて行う。</p> <p>あと、体力の向上の関係である。安全に遊べる場所、園庭開放ということ。総合型スポーツクラブのこと。委員のほうから地域の協力や子ども会の協力をいただくという話もあり、そここのところの考え方についても、このビジョンの中である程度落とし込んでいただいているとは思う。</p> <p>西村委員から、特にこの後半の5年間の中で、18歳で成年ということが大きくクローズアップしてくるだろうと。具体的には、幼、保、小、中から、そういう指導をしていかないといけないと。消費者被害ということもあった。茨城県神栖の事件、これも定かではないが、女子大生の方が大変なことになり、何が原因か、まだ究明中とのことではっきりわからないが、いまだにこのスマホとかLINEとかそういう被害があり、これは例えば高校生、中学生はまだ持つてはいけなくけれども、そういうこともぜひともゼロで、ないにこしたことはないと思うんですけども、そういった指導もあるかと思う。いろんな被害ということで言うと、SNSでのいじめの問題もあるかもしれない。そういったことを含めた、そういった関係のご指摘をいただいた。</p> <p>教育委員会の担当のほうで、現時点での考え、これからまたいろいろご意見をいただき新たに積み上げていく部分もあると思うが、3名の委員のご意見についてのお答えをいただきたい。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>西中委員から、府教委から出ているリーフレットについてご意見をいただいたが、府教委から親学習のリーフレットが出ている。親を学ぶ、親を伝えるということで、かなりのシリーズ物でリーフレットがたくさん出ており、その中には学力に関する、親としてどうあるべきかというものもあり、子育ての悩みをどう解決していくかという内容もある。そういったものもできる限りPTAに紹介していき、より浸透していくように努力していきたい。</p> <p>また、市としては、高石っ子の学びを育む家庭での過ごし方についてというリーフレットを必ず全保護者に渡しており、その中には、吉村委員からのご意見の「早寝早起き朝ごはん」の部分、それから学力、どうやって勉強していくか、またスマホの使い方など、いろいろと盛り込みながらやっていきたいと思っており、本市の学力向上のために、スマホの長時間使用というのがかなりの問題になっているので、今後は市独自のスマホの使用時間の啓発のリーフレットを作成していきたいと考えている。</p> <p>体力の部分であるが、実は今年度の体力の調査結果が、小学校5年生と中学校2年生の分が返ってきており、来週の教育委員会定例会で報告し、公表に向けて動きたいと考えている。結果としては、かなり向上してきた。クラブで頑張っている成果もあると思うが、かなりの部分で全国を上回ったり、また、大阪府を上回ったりと改善傾向にある。1校1実践ということで、各小・中学校で取り組んでいる成果もあると思う</p>

	が、今後とも引き続き頑張っていきたいと考えている。
社会教育課長	<p>のご紹介いただいた総合型スポーツクラブの活用ということで、現在バドミントンと卓球の主に2種目で活動しているというところである。今後は、新たな種目の追加等も検討しながら、また学校のほうにも総合型の案内もしながら、各小学校にも児童の参加を促していきたいと考えている。</p>
学校教育課長	<p>西村委員からご意見をいただいた成年年齢の引き下げについては、教育ビジョンでは引き下げられるという記載のみにとどめているが、今後、教育基本方針や、指導事項の中で、我々も各学校のほうに20歳から18歳に改正された中で、切りかえの問題については対応していきたいと思う。また、指導者教育については、後に向けて取り組んでいきたいと考えている。</p>
細越教育部長	<p>今、担当課の課長からも紹介させていただいたが、あともう少し時間をかけて検討をしていきたい。SNS、スマホ問題については、先日も市長に会長を務めていただいている青少年の健推協のほうでも学校問題研修会を開催し、まさにタイムリーな課題で、スマホ問題について研修をさせていただき、これは参加していただいた保護者、地域の方にとってはとても参考になった。非常にスマホの中の危険性についてご講義いただいたので、あわせてご報告させていただく。</p>
吉村委員	<p>今、部長から話があったように、昨年の11月に和泉の保健所のほうで、スマホによる発達障害という講演会が、たしか高石市も講演していただいたことがあったと思うが、その話では、低年齢化が非常に進んでいると。幼児期からバギーに乗りながらスマホを与えて景色を見ない。それでは外出する意味がないと。周りの風を見ていろんな人に接したり、看板を見て字を覚えたり、そういうのが全然できていないと。</p> <p>だから、学校だけではなく低年齢化しているのだから、その辺は幼・小・中一貫教育を教育委員会としても掲げているので、そういう低年齢の部分に関しても、結局、子守をスマホにさせているという状態であるので、やはり人で育てないといけないというところを先導していかないといけないと思う。</p>
阪口市長	<p>西村委員の話から、公選法が改正されて投票権ができたが、18歳で成年によいよ法的にも確定するのかと。</p> <p>また、例えば園庭開放を、吉村委員がおっしゃった見守り隊や地域の方々に一緒にやってもらえたらどうかというアイデア。あるいは、総合型スポーツクラブも体協など、もちろん専門の団体でやっていただくのもいいと思うが、少年団や子ども会はどうか、こういう意見があった。学校とか行政、家庭、地域というのがあるが、ここの横串というか、そこがやはり非常に大事ではないかと感じた。</p> <p>もう一つ、吉村委員はドクターで、西村委員はロウヤーであられる。千葉の虐待の問題で弁護士の先生が、いつでも直接子供から言ってくれみたいな報道があったわけで、例えばそういう専門の分野、これはネット被害もそうであるが、本市の消費生活相談員もいるので、その辺と学校、あるいは直接子供が言うのかどうか、そここのところは我々も相談しなければならぬし、家庭を通じて、市にもそういう部署があるため、その学校、家庭、地域の横串の連携と同時に、そういう専門家の方々にも積極的にかかわっていただくような、それによって先生方もより百万力ではないが、非常にこの専門的な見地からご意見もいただき、判断の材料になると感じた。そういう専門家の方々にも交わっていただくことは大切であると感じた。</p>
佐野教育長	<p>今回の教育ビジョンの策定は、私どもと教育委員の先生方の本当に専</p>

	<p>門的なご意見を頂戴し、調査、研究を行い、平成26年4月に策定した教育ビジョンをもとに、これからの期間を重点的に取り組むという施策を明らかにするために改めて調査、研究を行い策定したものであるので、本案をもってこれから5年間の教育ビジョンとしたいと考えている。</p> <p>この教育ビジョンは、本市の総合計画に沿ったこれまでの教育ビジョンを基本としつつも、いろいろな課題が出てきているので、これからの新しい5年間の重点政策を明らかにしたものであり、この教育ビジョンをもって、今後、学校教育そして生涯学習ともの充実を図っていきたいと考えている。</p>
阪口市長	<p>今後これをベースに、今いただいた意見も含めて参考にさせていただきながら、より積極的にやっていきたいというお話であるが、たかいし教育ビジョンの策定について、この原案でよろしいか。</p>
各委員	<p>異議なし。</p>

・協議事項(2) 平成31年度教育委員会重点課題について

学校教育課長	<p>小・中学生の学力について、今年度全国学力・学習状況調査の結果については、既に広報たかいし11月号及び教育委員会のホームページにて公表しているが、少子化とともに課題が見られる結果となっている。こちらのほうは、数字的には少ししんどい結果が今年度出たと考えている。</p>
西村委員	<p>数字的には課題が見られたということであるが、その課題解決に向けて、今後どのようにしていこうと考えているのか。</p>
学校教育課長	<p>学力向上に向けては、府費負担教職員による加配教員に加え、市のほうに市費負担ということで非常勤講師を配置していただき、児童・生徒にとってわかりやすい授業、わかったという達成感が得られる授業を目指して今実施しているところである。</p> <p>全国学力・学習状況調査の児童・生徒質問紙における算数・数学の授業はわかりやすいかという項目があり、この肯定的な回答は上昇傾向にある。平成30年度は小・中学校ともに、わかりやすいという部分については大阪府及び全国を上回る結果となり、数字的にまだ達成できていないということかなと考えている。わかりやすい授業は全校的にできているにもかかわらず正答率が低い現状について、調査本来の対応ができていないのかなというふうに考えており、今後、大阪府作成の力試し問題等の活用を現在進めているところである。</p>
吉村委員	<p>先ほどの説明の中で、学力向上するには授業がわかりやすい、理解できるという人が多いというお話であったが、パブリックコメントにもあったが、さらに少人数学級にしたらどうかという意見もあったが、要するにいろんな段階の生徒がいて、それぞれに対応して教えるという難しさは人数が少なくても均一でない限り一緒であると思う。ですから、これ以上少人数にしても余り変わらないと思う。逆に、水泳の授業なんかは泳力によってクラス分けをしている。これは誰も異議のないところである。泳げない人も泳げるようになり、さらに泳げる人は泳力が伸びるという、いいクラス分けをしている。</p> <p>ただ、普通の学校の授業でそれをやると、要するに進学校と同じようになって、結局は上のクラスに行くための勉強になってしまう。やはり弊害が出てくるので、それ以外でやろうと思うと、やはり学力向上大作戦の中にある各担任による個別指導であるとか、これは教員の労働超過につながらないようにしなければならない。あとは、あおぞら教室の活</p>

	<p>用であるとか、そういうことを個別でやったほうが効率がいいのではないか。そういう受験戦争に巻き込まれないという意味ではいいと思う。</p> <p>それともう一つ、今、家庭学習の資料を出しているということがあったが、やはり、これも家庭であるが、宿題をしてこない子が多いとか、そういうのがある程度問題としてあるので、自宅でドリルに取り組むであるとか自宅学習というのも非常に大切であると思うので、この辺のところには何か取り組み実施でいい案が出ていると思うが、その辺はどうか。</p>
阪口市長	<p>今、少人数というか習熟度について、学び舎事業も継続していると思うが、学力に応じた指導方法ということで、習熟度に応じた対応も継続されていると思うが、その辺についての何か考えはあるのか。</p>
学校教育課長	<p>習熟度別学習についても、学校のほうではかなり浸透しており、名称は各学校で工夫し、どんどん進んでいくコースとゆっくりコースという形でクラスを半分に分け、少人数での勉強を各種進めている。</p> <p>その中で、今後も習熟度別学習は進めていく。そのために、市費でも非常勤講師も導入いただいた。あと、補充学習的な部分では、先ほど市長からもおっしゃっていただいた、高石っこ学び舎事業を中学校で取り組んでいる。</p> <p>また、タブレット端末も他市に比べてかなりの台数を入れていただいた。学校でのタブレット端末の活用チャンスもかなり増えており、よりわかりやすい授業、自らどんどん取り組む形の学習に取り組んでいきたいと考えている。</p>
西中委員	<p>これまで、特に先ほど出ました市費のいわゆる教員の配置等、予算を組み、いろいろな取り組みがあって非常に効果が上がっていると思うが、今まで継続して取り組んできた施策以外に、今後こういう形で力を入れて取り組んでいきたいというものはあるか。</p>
学校教育課長	<p>今回、学力調査の結果が返ってきており、その直後より学校教育課の担当指導主事、各学校の校長先生、教頭先生または担当者の先生と協議して、学力の課題克服に向けた取り組みを進めているところである。来年度については、大学の教員等、外部の有識者にもご支援をいただき、研修等を実施することで学力向上につなげていきたいと考えている。</p> <p>また、各小・中学校における個別支援や補充学習についても現在研究を進めているところであるが、市教育委員会として、学力向上施策については別添資料を今回つけさせていただいた。</p> <p>1枚目について、学力向上大作戦、少人数指導の推進の概要というものでまとめたが、個別指導の推進や小・中連携による取り組み、また、市教育委員会の指導主事による各学校への訪問支援などを継続して実施していく。</p> <p>また、小学6年生と中学3年生での学力調査の結果について、単年度という形でテストを受けて結果が出ているが、経年比較についても課題があると考えており、今後、学力調査、学力の把握についても今後研究していきたいと考えており、また、家庭学習というご意見を先ほどいただいたが、家庭学習教材のガイドによる家庭学習の充実についても研究していきたいと考えている。</p> <p>また、ICT環境の充実ということで、タブレットの有効活用をさらに進めるために、OS更新に伴うタブレット更新に合わせ、無線LANの拡充を進めていきたいと考えている。</p>
阪口市長	<p>資料のSIST事業について、何の略なのか、中身も含めて、TASTもあわせて説明いただきたい。</p>
学校教育課長	<p>シストと呼んでいる。各担当指導主事が、各学校の先生の指導改善を</p>

	<p>目指して継続的に取り組む、指導するのではなく、長期間にわたって授業案の検討、指導案の検討から授業、その後の検証等を行っているものであり、大阪のスタンダードな授業のスタイルの確立とともに、見本を見ないとわからないので、なかなかしんどいところであるが、各指導主事が実際にその学級で授業をして見せる。こういう授業を目指していくべきであるという師範授業を行っており、このS I S Tについては、スクール・イノベーション・サポート・チームの略で、チームで支援をするというものである。</p> <p>T A S Tはタブレット・アクティビティー・スタディー・チームの略で、導入したタブレット、各校約40台ずつあるが、このタブレットを活用する授業スタイルを研究するという一方で、各校1名出てくださいということではなく、ぜひ自分がやってみたい、タブレットを使ってよりよい授業をしてみたいという教員の募集をかけ、自ら学びたいという先生方に集まってもらい、タブレットを使ってどのような授業展開をすれば子供たちにより理解が進むのかということの研究を進めているものである。</p>
阪口市長	<p>先生方も世代交代が進んでいると思うので、バックアップする体制について取り組んでいることがよくわかった。</p> <p>学力向上について、テスト結果で一喜一憂も大事であると思うが、冒頭申し上げたいいわゆる英語教育も非常に進んでいるということで、これは本市も単独で予算を計上させていただき、教育委員会のほうもそれに呼応して、中学校どころか小学校もということ、全10校で取り組んでいる事業であり、本市はロミタと姉妹都市をやっているが、そういう国際交流は非常に大事であるという時代になってきたので、これからどんどん外国人の方もワールドカップラグビーを初め、オリンピック・パラリンピック、さらには万博という流れができていっているので、非常に大事であると考えている。</p> <p>英語教育について、事務局から見解があればお願いしたい。</p>
学校教育課長	<p>国際化社会に向けて英語は非常に大事な科目であると考えている。今年度実施した英語検定協会が実施している英検 I B A、これは英語検定と同様のテストであるが、この結果がかなり向上している。</p> <p>資料をつけさせていただいたが、先ほどの学力向上の部分の裏面をご覧いただきたい。</p> <p>中学1年生では、英検5級程度以上の生徒の割合が、昨年度の69.2%から74.6%と5.4ポイント、中学3年生では、英検3級程度以上の生徒が39.5%から43.8%と4.3%、それぞれ向上している。</p> <p>本市では、平成25年度より教育課程特例校の指定を受け、通常小学5・6年生で行っていた外国語活動の授業を小学1年生から実施した。小・中学校において、コミュニケーション能力の育成を図るためにA L T、外国人英語指導助手も配置していただいた。また、平成30年1月にまとめた高石英語教育推進の方向性に基づき、小学校に中学校の英語教員を非常勤講師として配置したり、大阪府の加配教員を活用するなど、これまで英語教育に積極的に取り組んできた成果であると考えている。</p> <p>今後も、この達成状況がますます向上するように取り組みたいと考えている。</p>
阪口市長	<p>ちなみに大阪府で中学1年5級レベルは、30年度でも29年度でも構わないが、どのようなものか。国はわかっているかどうかかわからないが。あと、3級レベルの中学3年生、これも大阪府でどれぐらいのレベルか教えていただきたい。</p>
学校教育課長	<p>今、手元に詳しい数字はないが、5級レベルの中学1年生は余り調査</p>

	<p>結果がない。3級程度の中学3年生については、3割半ばぐらいと考えており、これも実際にテストをして、本市市議会のようにテストをした結果が正確な数字として出る調査と、他市においてもこういう調査はしていないので、英語科の教員が大体英検3級以上あるなというのをカウントするという調査があり、なかなか比較は難しいと思うが、他市に比べて、この43.8%はかなり高い結果であると考えている。</p>
阪口市長	<p>5級レベルの中学1年生についても、大阪府は平均出してくれたらいいのと思う。</p> <p>頑張っているところは頑張っているというのを、これだけ先生方も学校も、我々、市としても、議会も予算つけていただき頑張れ頑張れということでここまで成果は上がったわけである。それは、もちろん他の教科も全部上げていかないと思うが、きちっと情報公開したらいいというふうに感じるので、ぜひそういう成果を報告してほしいと思う。</p>
佐野教育長	<p>学力向上大作戦について、随分いろいろメニューがあり、現場でも頑張っており、特に本市では、なかなかできにくい指導主事が自ら行って模範授業をしているということ、本当に他市でも少ないと思う。そういうふうにして、現場では頑張っており、私もかつて指導主事を経験しているが、古いので比べるのは変かもしれないが、その当時と比べると指導主事の数、また予算についても数段につけていただき現在に至っているが、なかなか数字に出てこないというもどかしさを、本当に正直なところ感じている。</p> <p>ただ、本市の課題として、解答しないという数字が高いので、学習につまずいている子たちをどのように救っていくか。その子たちの将来を考えたときに、やっぱり学力をつけてあげて、自分の人生が多角的に選べるような、そういう学校教育にしていきたいと考えている。</p> <p>要するに、指導主事も頑張って、現場も頑張っているので、成果が出るのを楽しみにしていただきたいとしか今は申せないが、温かく見守っていただき、また、市長においては、これまでどおり予算をつけていただくようよろしくお願いいたします。</p>
阪口市長	<p>先ほどの習熟度ではないが、できる子をどんどん上げるのもいいが、低いところの子を何とか底上げしていく、その子どもたちが成人になったとき社会を支えていく子どもたちになっていくと思うので、その課題のある子の底上げをよろしくお願いいたします。</p> <p>続いて、総合体育館事業について、事務局から説明をお願いしたい。</p>
社会教育課長	<p>それでは、総合体育館事業について説明させていただく。</p> <p>総合体育館については、多くの市民の方や競技スポーツ団体の皆様にご利用いただいております。指定管理者による健幸づくり教室、鴨公園の園路を活用した健幸ウォーキング、こういった活動の実施により、市民の健幸づくりの拠点として活用いただいております。</p> <p>また、平成30年度においては、市民の方からいただいた寄附金を活用し、障がい者も健常者も子供から高齢者の方まで誰もが楽しめるボッチャの魅力に気軽に触れられる環境づくりのため、ボッチャボール等を購入し、市民の方への貸し出しも行い、高齢者サロンでボッチャ体験会などを行うなど活用いただいております。今後も、スポーツ推進員を中心とし、ボッチャの体験会の開催や用具の貸し出しをホームページや広報紙に定期的に掲載するなど、積極的にPRを行い、市民へのボッチャの普及を図っていききたいと考えています。</p> <p>また、総合体育館においては、平成27年4月から指定管理者による管理運営を行っている。平成31年度においては、平成32年度からの指定管理者を選定する時期となっている。今後も、市民の健幸づくりの拠点と</p>

	し、市の防災拠点である市役所庁舎や広域避難所になる鴨公園と連携する防災の拠点としても役割を果たす施設として、指定管理者による管理運営を行っていきたいと考えている。
阪口市長	先ほど冒頭のビジョンの中にもあった総合型スポーツクラブ、これも広く市民参加していただくよう、子ども会というご意見もあり、カモンたかいしをできるだけ門戸というか間口を広くして、利用していただくような形をぜひとも考えていただきたいと思う。そういう点をしっかりと指定管理者とも話をしつなげていただきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。
西村委員	先ほど成年年齢の引き下げの話をしていただいたが、2022年4月から成年年齢が20歳から18歳に引き下げられる。毎年、成人式を20歳にしているが、今後どうなるのか、皆さんの関心も高いところであると思う。ニュースなどでも、従来どおり20歳で実施することを表明している自治体もあるようであるが、高石ではどのように考えているのか。
社会教育課長	成人式について、時期であるとか、あり方に関して、現在、法律による決まり等はなく、各自治体の判断で実施しており、本市においては、成人の日に20歳の方を対象に現在実施している。 ご質問の成年年齢が18歳に引き下げられた場合の成人式について、18歳の方を対象とすると、多くの方が高校3年生ということで、進路の選択にかかわる重要な時期に実施することになってしまう。また、2022年には18歳、19歳、20歳と3学年同時に実施するのかという問題も生じてくる。 現在、教育委員会としては、成年年齢が18歳に引き下げられる2022年度以降についても、18歳の多くの方が高校3年生であり、進路の選択にかかわる時期に当たるということから、教育的な配慮により、これまでどおり20歳の方を対象に開催していきたいと考えている。 なお、成年年齢が18歳に引き下げられることで、名称等については、例えば20歳を祝う日など今後検討していきたいと考えている。
西村委員	女性ですと振り袖を着たりとか、男性でもはかまをはいたりとか、随分早い時期からその準備をしておられるので、いつごろになるのか、対象の年齢が幾つになるのかをできるだけ早く決めて、皆さんに周知していただきたいと思う。
西中委員	最近また、いじめ問題がマスコミ等で取り上げられ、教育委員会の不適切な対応とか問題を大きく取り上げられているが、本市の場合、私は人権擁護委員をしているが、小・中学校とも学校の先生方、それから子供たちが一体となっていていろいろ取り組んでいただき、非常によくできていると思っいていつも感心をしているが、現状はどうか。
学校教育課長	いじめについては、各校において正確な認知と適切な早期対応を進めているところである。 こちら、資料をごらんいただきたいと思うが、認知基準の見直しにより、平成28年度は大幅に認知件数が増加しており、平成29年度は減少している。また、認知した事案においては、全て解決済みであり、重大事案にまでなっているケースはない。 いじめに対する取り組みと現状については、いじめ防止対策推進委員会を毎年度2回ずつ開催しており、その場でいただいた専門家の方々の助言をもとに対策を改善しているところである。なお、今年度の2回目は、今月の22日金曜日の18時から開催する予定である。
吉村委員	最近、インフルエンザなどで学級閉鎖が非常に多く出ていると思うが、毎年夏には水疱瘡、おたふく、冬にはインフルエンザ、ロタウイルス、ノロウイルスで学級閉鎖が非常に多く出て授業の組みかえなども大

	<p>変である。市長も当然ご存じのように予防接種法とって、防げる病気がいっぱいあるわけで、それは定期予防接種のものは当然打ってもらわなければいけないが、本市でもやはり10割はいかない。8割から8割5分。予防接種の率はそれぐらいである。</p> <p>だから当然、学校が始まる時に、プリントで家庭の予防接種の案内など、入学時健診では予防接種歴の確認などをしていただいているが、市としても、定期予防接種を考慮されているワクチンが何種類かあるので、予防接種があるものは予防接種をするのが主流であるので、その辺の啓蒙を教育委員会もそうであるが、福祉関係の専門の部署からも要望とか出ると思うので、ぜひ予防接種率が上がるように、市としてもご協力いただければと思う。</p>
<p>阪口市長</p>	<p>注意喚起するというご指摘をいただき、予防や健診は大事で、これは子供さんにかかわらず年配の方も含めて、医療費がものすごく上がっている。それは何かというと、早期発見、早期治療で、がんでもそうであるが、健康診断を受けて早くわかると、結果として治療費も低くおさまる。これは生活習慣病などもそうである。これは全世代にわたることなので、今、先生がおっしゃられたお話は十分、教育委員会のほうでも、本市は保育所もあるので、全般に考えていただきたい。また、私のほうから、健康保険、保健医療の担当にも伝えておく。</p> <p>本日お示しされた重点課題等については、皆様方のご意見をいただき、それを踏まえて今後取り組んでいただきたいと思う。</p> <p>委員の皆様方においては、高石市の教育行政に多大なるご支援、ご協力を賜り、また、本日も貴重なご意見をいただきありがたく思う。</p> <p>今後とも、高石市の教育のさらなる発展向上を目指して頑張りたい。また頑張っていきたいと私も思っているので、よろしくお願ひしたい。</p> <p>それでは閉会とする。</p>